



Global Logistics

明日の日本を、世界を、動かせ！

国際物流管理士 資格認定講座

後援：経済産業省・国土交通省



INTERNATIONAL LOGISTICS MASTER COURSE

第40期
国際物流管理士
資格認定講座
開催日程

- 第1単元：9月 6日(木)・7日(金)
- 第2単元：9月 7日(金)・19日(水)・20日(木)
- 第3単元：10月 3日(水)・4日(木)
- 第4単元：10月24日(水)
- 第5単元：10月25日(木)・11月7日(水)・8日(木)
- 現地見学：10月26日(金)
- 第6単元：11月20日(火)・21日(水)
- 第7単元：12月 4日(火)・5日(水)
- 第8単元：1月23日(水)・24日(木)
- 第9単元：2月 5日(火)・6日(水)
- 認定証授与式：3月6日(水)

▼本講座ではこのような人材を育てます

- ・国際物流の基本から法規制や最新動向まで理解し、海外でのサプライチェーンの構築・改善ができる人材
- ・顧客に対して国際物流を含めた企画提案ができる人材
- ・将来の海外駐在要員としてグローバル視点を持ってマネジメントができる人材

▼ぜひ、貴社内の下記に該当する部署へ本パンフレットをご回覧ください

製造業：国際物流部・グローバル企画部・海外営業推進部・SCM部 等
物流事業者：国際事業推進部・グローバル統括部・海外オペレーション部・通関保税部 等

第40期『国際物流管理士資格認定講座』開催にあたって

新興国における経済が高成長を続け、世界規模での最適地調達、最適地生産など企業活動のグローバル化が進展し、企業経営においては、国際競争を勝ち抜くためのグローバルロジスティクスの重要度が高まっております。

製造業においては、グローバルな視点に立った生産拠点、物流拠点の配置による、消費地へのシームレスな物流構築のため、国際物流のシステム革新やローコストオペレーションの推進が不可欠であると認識されています。

また、物流企業においては、国際物流の効率化を支援するためのシステム提案型のサービス提供が不可欠となり、顧客である荷主のグローバルロジスティクス構築のために果たす役割が大きくなっております。

このような状況のもと、産業界では国際競争力強化のため、国際物流の専門知識と管理技術を習得したスペシャリストが求められております。

「国際物流管理士資格認定講座」は、わが国唯一の国際物流のスペシャリスト育成講座として1979年の開講以降、1,527名の「国際物流管理士」を輩出し、産業界より非常に高い評価をいただいております。

第40期を迎える本講座は、広範に渡る国際物流について、概論から応用までわかりやすく解説するとともに、企業事例や物流施設見学、グループ討議やケーススタディなどを取り入れた、実務に直結するカリキュラム構成としております。

国際物流のスペシャリストの育成に、ぜひ本講座を積極的にご活用くださいますようお願い申し上げます。



能力開発委員会 国際物流管理士専門委員会
委員長 石原 伸志
(東海大学 海洋学部 客員教授)

国際物流人材に関して、こんな悩みはありませんか？

- 国を跨ぐ調達・生産・物流といったサプライチェーンの構築・改善について企画・立案・実践・見直しができる人材を育てたい。
- 国際物流の現状を把握した上で、課題の設定や解決に向けた中心的な役割を担うリーダーを育成したい。
- 顧客のニーズを的確に捉え、シーズの発掘を積極的に行うことができる、企画提案力を持った人材を育成したい。
- 顧客に対し、国際物流を含めた複合提案ができるような人材を育てたい。
- 多国間取引の増加に伴い、国際物流の基本に加えて最近のFTA/EPAの条約等の国際法規・ルールを習得した、ロジスティクスの円滑化に貢献できる人材を育てたい。
- 次代の海外駐在要員として、各国の物流事情の把握、現地マネジメント手法を身につけた、グローバル視点を持つ人材を育てたい。

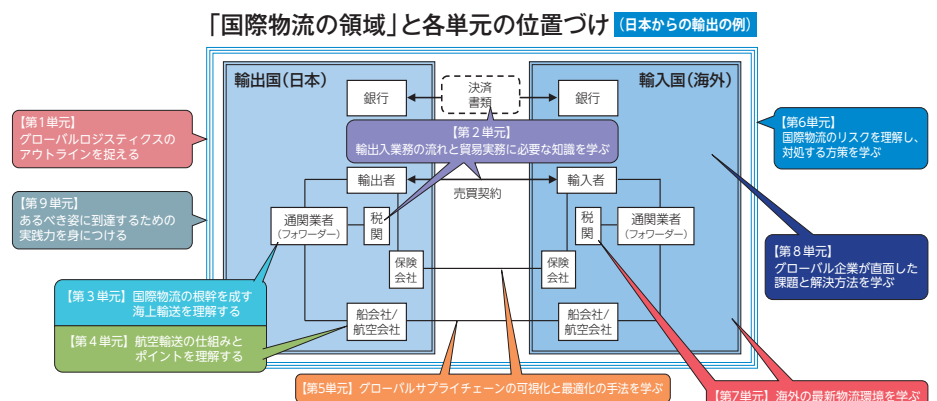
本講座では、実務への応用が可能なスキルを身につけていただきます

- 国際物流に関する**専門知識**や**マネジメント技術**、**最新情報**や**企業事例**を総合的に学べます！
- **グループ討議**や**ケーススタディ**を通じて、**実践力**を習得します！
- **様々な業種・役職**の方々との交流を深め、実務では得がたい**ヒューマンネットワーク（人脈）**を構築します！
- **世界**で使える**わが国唯一の国際物流スペシャリストの証「国際物流管理士 International Logistics Master」**の資格が得られます！

- ①国際物流やグローバルロジスティクスに関する専門知識を有し、実務で活かすことができる。
- ②自社の物流の現状を把握し、問題発見や解決すべき課題を設定することができる。
- ③課題解決策を立案し、国内外問わず、社内外の関係者の理解と協力を得ながら実行することができ、さらにその効果を評価することができる。
- ④グローバルレベルで全体最適を志向し、幅広い視点で新たな事業やサービスを企画・提案することができる。
- ⑤海外赴任先において、異なった価値観や習慣を持つ現地スタッフに対して、指導や権限委譲を行いながら、チームとしてまとめ、実務を遂行することができる。



第40期国際物流管理士資格認定講座カリキュラム



第40期 国際物流管理士資格認定講座 カリキュラム

* 講師の都合等によりスケジュールに変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

会場 JILS 研修室

第1 単元

グローバルロジスティクスのアウトラインを捉える

国際物流からロジスティクス、サプライチェーンへの展開等を知り、次単元以降の講義を理解するための基盤作りを行う。また、グループ討議を通じて、課題解決への実践的な考え方等を学ぶとともに、異業種メンバーによる交流とヒューマンネットワークの形成を図る。

(敬称略)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
9月6日(木)	9:30~ 9:45	開講式		
	9:45~11:45	国際物流とロジスティクス	国内物流との違い、国際物流の形態の変化 国際物流で求められる知識とは	石原 伸志 東海大学 海洋学部 客員教授
	11:50~12:20	講座オリエンテーション	修了要件・認定要件・課題等、本講座の規程に関する説明をします	事務局
	13:20~17:00	グループ討議 国際物流の現状・自社の課題認識 と解決の考え方	国際物流の現状や自社の課題を認識し、グループ内で原因の分析や解決に向けた取り組みについて検討していただきます	大森 幹雄 日本ロジスティクスシステム協会 JILS アドバイザー
	17:00~17:30	昨年度総代による講演	講座を受講するにあたってのポイント、体験談やアドバイス	森田 あず実 日本デイリーネット(株) 本社 企画部 業務支援課 主任
	17:30~19:00	キックオフミーティング (交流会)		
9月7日(金)	9:30~13:00	グループ討議 (続き) 国際物流の現状・自社の課題認識 と解決の考え方	1日目に引き続きグループ討議を行い、その後検討結果を発表していただきます	大森 幹雄 日本ロジスティクスシステム協会 JILS アドバイザー

会場 JILS 研修室

第2 単元

輸出入業務の流れと貿易実務に必要な知識を学ぶ

国際物流に携わる上で、通関、インコタームズ、決済、外国為替、国際ファイナンス等、輸出入に関わる事項の習得は不可欠である。本単元では、ウィーン売買条約等の最新情報を盛り込みながら、輸出入業務について、基礎から分かり易く解説する。

(敬称略)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
9月7日(金)	14:00~17:00	FTAとEPA、原産地規則、 AEO 制度	FTAとEPAとは、EPAのメリット、わが国が締結しているFTA/EPA 原産地規則の概要・適用税率、適用の条件、AEO 制度の概要	宮崎 千秋 神奈川大学 非常勤講師 前 公益財団法人日本関税協会 調査・研究グループ 担当部長
9月19日(水)	9:30~12:30	国際マーケティングとインコタームズ、 ウィーン売買条約	トレード・タームズ (貿易取引条件)とは、インコタームズ2010の概要、ウィーン売買条約のポイント、 国際マーケティング、サービスマーケティング	小林 二三夫 横浜商科大学 商学部 特任教授 地域産業研究所 所長
	13:30~16:30	輸出入における通関業務と保税手続き、 通関システム	輸出入通関について、関係法令について、三國間貿易について、輸入貨物の課税価格の決定、確認のポイント、保税制度、非違事例	井川 武志 山九(株) LS事業本部 国際・港運事業部 港運部 通関・保税管理グループマネージャー
9月20日(木)	9:30~16:30	貿易売買契約と各種決済方法、 外国為替とリスクヘッジ、 国際ファイナンス	貿易取引の流れ、信用状統一規則、銀行の外国為替業務、輸出入取引の流れと留意すべきポイント、 リスクヘッジ	井上 泰伸 日本貿易学会
レポート提出日			2018年10月5日(金) 13:00まで	

第3
単元

国際物流の根幹を成す海上輸送を理解する

海上貨物輸送は全世界における貿易の約9割で用いられており、国際物流を進める上で不可欠となっている。本単元では、海上貨物輸送の概論からフォワーダー、荷主企業の取り組みまで解説する。

(敬称略)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
10月3日(水)	9:30~12:30	海上貨物輸送概論	船で貨物を輸送することは、各輸送手段とその特質 コンテナの荷動き統計、海運業の特殊性、今後の課題	合田 浩之 東海大学 海洋学部 特任教授
	13:30~15:30	海上個品運送契約／船荷証券／ Sea Waybill／複合運送証券	運送契約・船荷証券・海上運送状等の説明(特徴・ 注意事項) 船荷証券統一条約と国内法、複合運送証 券、複合運送人の責任体系	日本郵船(株)
	15:40~17:10	国際物流におけるコールドチェーン と特殊・冷凍コンテナ	国際物流におけるコールドチェーン、冷凍コンテナの概要、 取り扱いにおける注意点、新しい輸送技術について	田村 健次 (株)MTI 取締役 営業グループ長
10月4日(木)	9:30~12:30	NVOCCと国際複合輸送	フォワーダーとNVOCCの違い、国際複合輸送ルートの特徴 と問題点、輸入フォワーディング業務の流れ、仲介貿易、運賃	桜井 正応 (株)日新 国際営業第一部 部長
	13:30~15:20	海上運送における特殊貨物 (危険物) 概論	危険物海上輸送の基礎知識(クラス・容器等級・試験 方法と判定基準等) 容器包装、運送手続き(表示方法・ 運送書類への記載事項等)、運送方法	飛延 孝男 一般社団法人日本海事検定協会 安全技術サービスセンター 上席危険物検査員
	15:30~17:00	国際物流におけるコスト削減に向けた 取り組み～海上輸送を中心として～	海上コンテナと今後の貿易、国際物流におけるコスト 削減の事例、物流費削減の手法、コンテナラウン ドコース事例、内陸デポの現状と課題	荻原 克郎 日触物流(株) 顧問(シニアアドバイザー)
	17:00~17:20	第5単元グループ討議 事前準備レポート出題	第5単元のグループ討議の前に、受講者の方々にテーマを出題し、 レポートにまとめていただくことで、討議前の準備をしていただきます	事務局
レポート提出日		2018年10月22日(月) 13:00まで		

会場 JILS 研修室

第4
単元

航空輸送の仕組みとポイントを理解する

商品ライフサイクルの短縮化やグローバルにおける在庫の最小化への対応を進める上で、航空貨物輸送の果たすべき役割は大きい。本単元では、航空貨物輸送の概論からインテグレーターやフォワーダーの取り組みまで、分かりやすく解説する。

(敬称略)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
10月24日(水)	9:30~13:30	航空産業概論、航空貨物輸送概論、 航空協定、航空運送約款と 航空運送状、航空貨物運賃	航空輸送の仕組み(メリット・種類・業務フロー等) と輸送環境、航空輸送に関わる条約・約款、運賃の 算出方法・Chargeable Weightの決定方法	土川 孝 (株)ANA 総合研究所 人創り事業部 主席研究員 山内 一郎 (株)ANA Cargo オペレーション企画部 安全教育・訓練推進課 マネジャー
	14:30~17:30	フォワーダーとインテグレーターの グローバルロジスティクス展開	フォワーダーとは、日本のフォワーダーの紹介、ITシス テムの紹介、フォワーダーの展開事例と今後の可能性	鈴木 伸彦 (株)ジュリアンウッドベル 代表取締役
レポート提出日		2018年11月7日(水) 13:00まで		

会場 10/25 JILS 研修室
11/7~11/8 タイム24ビル第5
単元

グローバルサプライチェーンの可視化と最適化の手法を学ぶ

物流・ロジスティクスの高度化、効率化を考える上で在庫管理やSCM、3PLは重要なテーマである。本単元では、それらの理論とともに実例を交えて解説する。また、これまでの単元で習得した事項を踏まえたグループ討議にも取り組む。

(敬称略)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
10月25日(木)	9:30~12:30	国際物流におけるコストとKPIの算 定と既存業務プロセスの見直し	KPIに必要な要素、「現地化」とロジスティクスの転換 事例、プラットフォーム戦略、業務プロセス改革担当 者の条件、グローバル・ロジスティクスミックス	橋本 雅隆 明治大学 専門職大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授
	13:30~15:30	サプライチェーン最適化のための システム構築	SCMの重要性、最適化のための可視化および解析、改善手法 エクセレントカンパニーにおけるSCM最適化事例	講師調整中
	15:40~17:00	SCM改革の実践事例	グローバルサプライチェーンのマネジメント 事例紹介(リードタイム管理・コスト削減)	長澤 由之 ジャココ(株) SCM推進部 課長補佐
11月7日(水)	9:30~12:30	3PL概論	3PLとは、日本と海外の3PLの現状、なぜ3PLなのか、 3PL化で注意すべき点・必要なこと、国際物流の3PL化	中谷 祐治 ロジ・ソリューション(株) 常務取締役 戦略コンサル事業部長
	13:30~15:00	国際物流における3PL導入事例	荷主から見る3PL戦略の策定要素・選定基準・審査 イメージ、グローバル3PL導入事例	講師調整中
11月8日(木)	15:10~16:40	国際物流における3PLの実践事例	3PLの考え方、国際物流における3PL受託事例 荷主の課題解決のためのプロセス、今後の展望	佐々木 治 日本通運(株) オートモーティブ事業支店 グローバル営業推進グループ(自動車) 部長
	9:30~17:30	グループ討議	設定されたいくつかのケースに基づき、事前準備レポートでの考察を 踏まえて、グループ内で解決に向けた方策を検討していただきます	中谷 祐治 ロジ・ソリューション(株) 常務取締役 戦略コンサル事業部長
レポート提出日		2018年11月29日(木) 13:00まで		

現地見学

国際物流の最前線を、見学して感じる

(敬称略)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
10月26日(金)	10:00~11:00	現地見学/東京税関 本関	現地を見学しながら、業務の流れについて説明をいただきます ※本プログラムは自由参加となり、資格認定規程には含まれません	東京税関
	13:00~15:00	現地見学/羽田空港 貨物ハンドリング施設		(株) ANA Cargo
	16:00~17:00	現地見学/大井埠頭 コンテナターミナル		日本郵船(株)

会場 JILS 研修室

第6
単元

国際物流のリスクを理解し、対処する方策を学ぶ

企業活動におけるリスクマネジメントの重要性はますます高まっている。本単元では、国際物流におけるリスクの概要と、特に重要となる貨物事故防止対策、並びに貿易貨物保険とクレーム手続のポイントについて解説する。

(敬称略)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
11月20日(火)	9:30~11:30	国際物流における リスクマネジメント事情	昨今のリスク事象、リスクアセスメントとリスクマネジメントの考え方、グローバル企業にみるリスクマネジメント活動	原 敬徳 SOMPO リスクマネジメント(株) 執行役員 コーポレート・リスクコンサルティング部長 首席コンサルタント
	12:30~15:00	リスクマネジメント概論	物流に関わるリスクとは、リスクマネジメントとは、基本的な進め方(リスク特定・分析・評価)と留意点、各企業の取り組み事例	田代 邦幸 (株)サイエンスクラフト 防災部 シニアコンサルタント
	15:10~16:40	物流BCP	災害とロジスティクスの関係、BCPの考え方と重要性 BCP策定の手順やポイント	興村 徹 日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 副所長
11月21日(水)	9:30~12:30	国際物流におけるリスクマネジメントとロスプリベンション	リスクマネジメントの重要性、効果的なロスプリベンション 国際物流クレームの現状と特殊リスク、ロスプリベンション検討の実例	能勢 正貴 一般社団法人日本海事検定協会 検査第一サービスセンター 部長
	13:30~17:00	貿易貨物保険とクレームの実務	外航貨物海上保険の特色、貨物海上契約について(約款の説明)、貨物海上保険におけるリスクの判定と保険料率の算定、クレーム手続き	高野 浩司 東京海上日動火災保険(株) 海上業務部 貨物営業支援グループ 専門次長(法規・約款担当)
レポート提出日			2018年12月6日(木) 13:00まで	

会場 JILS 研修室

第7
単元

海外の最新物流環境を学ぶ

物流コストを削減しつつ、高品質な国際物流を構築するためには、海外の物流状況を把握することが不可欠である。本単元では、各地域における物流インフラ、通関等の物流事情について、最新事情を盛り込みながら解説する。

(敬称略)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
12月4日(火)	9:30~11:30	インドの最新物流事情	インド市場の魅力(消費地・生産地・物流業等の視点から)、インド物流の実態・他国との比較、インドで成功する鍵は	大森 幹雄 日本ロジスティクスシステム協会 JILS アドバイザー
	12:30~14:30	欧州の最新物流事情	欧州における物流事業の取り組み事例、EUの概要と日本との関係、各国のインフラ事情(航空・海上)、地域別の物流事情	(株)日立物流
	14:40~16:40	米国の最新物流事情	アメリカ物流の現状(港湾・空港・トラック・鉄道) アメリカにおける通関手続きについて、物流改革事例の紹介	講師調整中
12月5日(水)	9:30~12:30	東南アジアの最新物流事情	日本・ASEANを取り巻く現状、ASEAN新興国が目される理由、ASEAN域内の産業別動向(コールドチェーン等)、ASEANの今後	石原 伸志 東海大学 海洋学部 客員教授
	13:30~16:30	中国の最新物流事情	中国経済と物流事情、中国物流の変遷、中国物流の難しさ、保税制度の重要性、関連規制の説明、事例の紹介	栗田 幸武 (株)アルプス物流 取締役 営業本部副部長

会場 JILS 研修室

第8
単元

グローバル企業が直面した課題と解決方法を学ぶ

経済成長が著しい中国や東南アジア等の新興国では、現地における物流構築・改善の重要性がますます高まっている。本単元では、海外現地においてこれらの取り組みを進める上でのポイントについて解説する。
(敬称略)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
1月23日(水)	9:30~10:30	客観試験	第1~6単元までの各講義内容から出題	事務局
	11:00~13:00	ITによる国際物流の見える化	可視化すべき情報は何か、各プレイヤーが必要とする情報、統合物流システムの紹介、運用上の課題と展開への示唆	寺田 猛史 鴻池運輸(株) 経営企画本部 経営改革推進部 部長
	14:00~17:00	海外現地における人材マネジメント方策	人事領域の経営課題、日本のマネジメントの問題点とはグローバルビジネスリーダーの戦略思考	町田 秀樹 ㈱アスピレックス 代表取締役社長
1月24日(木)	9:30~12:30	SCMの視点から取り組む海外現地における改善活動	各地で直面していた物流課題と解決に向けた取り組みの紹介 SCM・ロジスティクス管理のあり方・業務診断のチェックポイント	魚住 和宏 SCMソリューションデザイン 代表
		海外駐在における駐在員の心得	海外駐在員が遭遇しやすいリスク(私生活・仕事)、バランスシートの見方、物流管理のあり方	
	13:30~15:30	海外現地における物流構築・改善の実際①	三菱電機のロジスティクス概要、改善事例、グローバル対応について	福美 晃生 三菱電機(株) ロジスティクス部 技術グループマネージャー
	15:40~17:40	海外現地における物流構築・改善の実際②	ベトナム・ミャンマーにおけるインフラ・ビジネス環境の現状認識、課題と認識・把握と解決に向けた取り組み事例	高山 洋 住商グローバル・ロジスティクス(株) 執行役員 国際事業本部長

会場 タイム24ビル

第9
単元

あるべき姿に到達するための実践力を身につける

グローバルな事業展開を行っている企業のロジスティクス改革をテーマに据えたケーススタディにグループで取り組む。サプライチェーンマップ分析や在庫分析等、SCMの視点に立った課題抽出方策や改革・改善技法を学ぶ。
(敬称略)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
2月5日(火)	9:30~18:00	ケーススタディ 「グローバルロジスティクス改革」	グローバルな事業展開を行っている企業のロジスティクス改革をテーマに、サプライチェーンマップ分析や在庫分析等、SCMの視点に立った課題抽出方策や改革・改善技法をグループ討議を通じて学んでいただきます	池田 篤彦 ㈱日本能率協会コンサルティング 生産コンサルティング本部 サプライチェーン革新センター シニア・コンサルタント
2月6日(水)	9:30~17:00			

会場 JILS 研修室



資格認定証授与式

日程	時間	資格認定証授与式 / 懇親会	資格認定証の授与
3月6日(水)	15:00~17:30		



資格認定について

修了基準

- i) 14日以上出席すること。
- ii) 該当する単元で出題されるレポート試験を全て受験していること。
- iii) 客観試験を受験していること。
- iv) 第9単元「ケーススタディ」に2日間出席すること。

合格基準

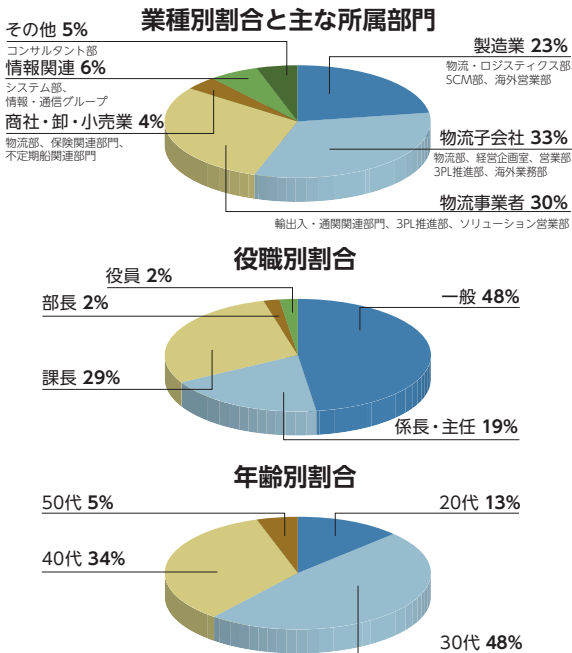
	①レポート試験（5回）					②客観試験	③欠席減点	④総合平均点 {(①+②)÷6}-③
	第2単元	第3単元	第4単元	第5単元	第6単元			
配点	100点	100点	100点	100点	100点	100点	1日欠席：1点減点 半日欠席：0.5点減点	100点
合格基準	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上		70点以上
提出日/実施日	10月5日	10月22日	11月7日	11月29日	12月6日	1月23日		

※資格認定規程の詳細は、講座の開講時に、事務局よりご説明いたします。

講座受講者の所属(例)

製造業：国際物流部・グローバル企画部・海外営業推進部・SCM部 等
 物流事業者：国際事業推進部・グローバル統括部・海外オペレーション部・通関保税部 等
 ぜひ、貴社内の上記に該当する部署へ本パンフレットをご回覧ください。

過去5年間の国際物流管理士資格認定講座 受講者属性



第39期国際物流管理士資格認定講座 資格取得者の声

森田 あず実氏 (日本デイリーネット株式会社 本社 企画部 業務支援課 主任)

私が勤務している日本デイリーネット株式会社は、現在、国内物流のみの取り扱いとなっております。将来、国際物流の業務を取り扱うようになったら、携わってみたいという思いから受講いたしました。

講義は国際物流に関わる国際間取引の規定や慣習といった基本的なことだけでなく、国際物流の具体的な改善事例や最新の物流事情等、教科書からでは学ぶことの出来ない内容も含まれています。特に講師の方々の体験談は、非常に興味深い内容が多かったです。

受講者の業種・役職・年齢等は様々です。普段関わることの出来ないような業種の方とも交流ができ、仕事をする上での視野が広がったように感じます。カリキュラムとしてグループディスカッションの機会が数回ありましたが、業種の異なるメンバーがそれぞれの専門分野からアプローチをしていくため、課題解決における過程がとても新鮮でした。講師の方からも的確なアドバイスをいただけるため、今後の業務にも生きてくると考えております。

国際物流の知識はほぼゼロの状態での受講でしたが、自分自身のスキルアップにつながりました。物流全般における考え方は非常に参考になりますので、実務をこなしている方も、そうでない方も、国際物流管理士資格認定講座に挑戦していただければと思います。

国際物流管理士専門委員会 委員名簿

本講座は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会が主催し、第一線でご活躍されている学識経験者や実務家で構成された能力開発委員会 国際物流管理士専門委員会によって企画・運営されています。

(敬称略・順不同)

委員長	石原 伸志	東海大学 海洋学部 客員教授
副委員長	小林二三夫	横浜商科大学 商学部 特任教授 地域産業研究所 所長
委員	魚住 和宏	SCM ソリューションデザイン 代表
//	土川 孝	株式会社 ANA 総合研究所 人創り事業部 主席研究員
//	山縣 敏憲	港湾職業能力開発短期大学校 横浜校 非常勤講師
//	鈴木 伸彦	株式会社ジュリアンウッドベル 代表取締役
//	高山 洋	住商グローバル・ロジスティクス株式会社 執行役員 国際事業本部長
//	高野 浩司	東京海上日動火災保険株式会社 海上業務部 貨物営業支援グループ 専門次長 (法規・約款担当)
//	荻原 克郎	日触物流株式会社 顧問 (シニアアドバイザー)
//	橋本 隆明	日本郵船株式会社 法務・フェアトレード推進グループ グループ長代理
//	福美 晃生	三菱電機株式会社 ロジスティクス部 技術グループマネージャー

受講申込書

申込FAX:(03)3436-3190

第40期国際物流管理士資格認定講座					開催期間：2018年9月～2019年3月			BA1812	
(フリガナ) 会社・事業所名					<input type="checkbox"/> 会 員 <input type="checkbox"/> 会員外		支払予定日 (開催後になる場合はご記入をお願いいたします) 月 日 支払予定		
(フリガナ) 派遣責任者					所属・役職名				
勤務先住所 〒 -					TEL : - - FAX : - - E-mail :				
(フリガナ) 受講者1			生年月日 (西暦) 年 月 日		所属・役職名			受付 NO	
勤務先住所 〒 -					TEL : - - FAX : - - E-mail :				
有資格： <input type="checkbox"/> 物流技術管理士補 <input type="checkbox"/> 物流技術管理士 <input type="checkbox"/> グリーンロジスティクス管理士 <input type="checkbox"/> 物流現場改善士									
単元聴講	1	2	3	4	5	6	7	8	
(フリガナ) 受講者2			生年月日 (西暦) 年 月 日		所属・役職名			受付 NO	
勤務先住所 〒 -					TEL : - - FAX : - - E-mail :				
有資格： <input type="checkbox"/> 物流技術管理士補 <input type="checkbox"/> 物流技術管理士 <input type="checkbox"/> グリーンロジスティクス管理士 <input type="checkbox"/> 物流現場改善士									
単元聴講	1	2	3	4	5	6	7	8	
名					円 (請求書は原則として、合計金額を派遣責任者の方にお送りいたします。その他、請求先のご希望は「協会への連絡事項」へご記入ください。)				
協会への連絡事項					受付日	請求日		請求番号	

受講申込規程

- ◆受講料**
 - ◆当協会会員 総額432,000円/1名 (受講料400,000円+消費税32,000円)
 - ◆会 員 外 総額540,000円/1名 (受講料500,000円+消費税40,000円)
- ◆有資格者優待**

当協会の認定する下記資格を持つ方は優待料金にてご受講いただけます。
 (対象「物流技術管理士補」「物流技術管理士」「グリーンロジスティクス管理士」「物流現場改善士」)

 - ◆当協会会員 総額378,000円/1名 (受講料350,000円+消費税28,000円)
 - ◆会 員 外 総額486,000円/1名 (受講料450,000円+消費税36,000円)
- ◆単元聴講**

特定の単元のみご受講いただくことができる制度です (第9単元を除く)
 現地見学は第4単元に付随するプログラムです。
 (1単元・1名様あたりの金額：消費税込)

※申込書の該当単元に○を記入して下さい。

 - ◇当協会会員 第5単元 81,000円/単元
 - 第5単元以外の各単元 54,000円/単元
 - ◇会 員 外 第5単元 90,720円/単元
 - 第5単元以外の各単元 60,480円/単元
- ◆受講料に含まれるもの** ①テキスト、資料代 ②審査料
- ◆定員 36名** (定員になり次第、締め切らせていただきます。)
- ◆受講申込方法**
 - ◆WEBまたはFAXで受け付けています。
 - WEBの場合 当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。
 トップ → 資格講座・セミナー → 資格認定講座 → 国際物流管理士資格認定講座
 ※当協会のホームページは www.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。
 - FAXの場合
 - ◆上記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。
 - ◆「参加証」と「請求書」は受講日の約1週間前までにお送りいたします。お手元に届かない場合には、ご連絡をお願いいたします。
 - ◆本講座の受付は、先着順、定員になり次第、締め切らせていただきます。あらかじめご了承のほど、お願い申し上げます。詳しくは事務局までお問い合わせください。
- 【開講日直前のお申し込みについて】**
 - ◆定員に余裕のある場合は直前での受付も行いますので、事前に事務局へご確認ください。
- ◆受講料支払い方法**
 - ◆請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
 - ◆お支払いは原則として開催前日までをお願いいたします (開催後になる場合は、支払予定日を申込書の支払予定日欄に明記してください)。
 - ◆振込手数料は、お客様にてご負担願います。
- 【お願い】**
 - ◆受講予定の方のご都合がつかない場合は、全単元を代理の方が受講してください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
 (注)キャンセルはFAXでのご連絡のみ申し受けます。
- 【キャンセル規定】**
 - ◆開催7日前～前々日 (開催初日を含まず起算) (消費税を除く) 受講料の30%
 - ◆開催前日および当日 (原則として消費税を除く) 受講料の全額
- ◆ご注意**
 - ◆テキストは会場でお渡しいたします。(テキストのみの販売等は一切行っておりません)
 - ◆講義中の撮影・録音・録画は禁止いたします。
- ◆申込先／プログラム内容のお問い合わせ先**
 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所
 〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1スズエベイディアム
 TEL (03)3436-3191 FAX (03)3436-3190
- ◆会場案内**
 - ◆公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
 東京都港区海岸1-15-1スズエベイディアム TEL (03)3436-3191
 - ◆タイム24ビル
 東京都江東区青海2-4-32 TEL (03)5531-0024
- ◆個人情報のお取扱いについて**
 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。お客様にご記入いただきました個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の開催催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。
 JILSホームページ <http://www.logistics.or.jp>